

平成27年度事業計画

1 普及啓発事業

(1) 賛助会員の拡大

がん征圧運動に協力していただく賛助会員（維持会員）の拡大に努める。

(2) がん征圧月間運動

がんに関する正しい知識の普及及びがん検診事業の拡大を図るため、「北海道がん制圧・がん検診受診促進月間」を9月及び10月とし、具体的な取組みとして

ア 北海道庁ロビーにおいて「がん予防パネル展」を開催する。

イ 婦人団体と連携し、街頭PRを実施する。

ウ 報道機関と連携し、新聞・テレビ・ラジオ等メディアを通じて、がん征圧月間のPRを実施する。

(3) がん予防道民大会

がんに関する正しい知識を広く道民に普及することにより、がん予防活動の実践とがん検診事業の進展を図ることを目的として、昭和40年以来、がん征圧月間の中心行事として全道各地で開催している。

今年は北海道、北海道健康づくり財団、及び江別市と共催し次により開催する。

期 日 10月9日(金)

開催場所 江別市民会館

主 催 北海道・北海道健康づくり財団・江別市・北海道対がん協会

(4) 啓発セミナー

ア がん予防学級

一般市民を対象に、がんに関する正しい知識の普及を図るため、次によりがん予防学級を開催する。

年 間 4コース（札幌1コース、旭川1コース、釧路2コース 釧路は、釧路市と帯広市にて各1コース開催）

開催場所 札幌・旭川・釧路各センター会議室など

イ 北海道家族の健康をまもる講習会

結核予防会北海道支部、北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食生活推進員団体連絡協議会及び当協会を含めた4団体の共催により、7月3～4日の2日間美瑛町国立大雪青少年交流の家で、がん等生活習慣病に関する講習会を開催する。

ウ 講演会等

市町村、事業所、町内会等の要望に応え講演会等を随時開催し、がんに関する正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を図る。

(5) がん対策の概況の発刊

がん対策の概況については昭和 45 年から毎年発刊しているが、本年度も内容を充実し 7 月に発刊する。

(6) その他情報発信

ア 機関誌「しらかば」の発刊

北海道対がん協会の機関紙である「しらかば」の内容の充実を図り、市町村、賛助会員の方々の情報源として魅力あるものにし、年に 3 回発刊する。

また、広く一般の方々に見ていただく為にホームページに掲載する。

イ ホームページの充実

近年、インターネットが年齢を問わず活発に利用されていることから、本年度もホームページの充実を図り、新しい情報の提供に努め、当協会事業の積極的周知とがんの知識普及を図る。

ウ メディアの活用

新聞・テレビ・ラジオ等メディア及び市町村広報等を通じてがん予防の知識普及に努める。

(7) 普及啓発の推進

ア 地区組織との連携

各種団体・地区組織との連携を密にし、より一層がんに関する正しい知識の普及、がん検診事業の拡大を図る。

イ 企業との連携

巡回セミナー・ピンクリボン運動を通じて企業との連携強化に努め、がんの知識の普及、検診の拡大を図る。

ウ ボランティア団体への支援

ピンクリボン運動の活動等に取り組んでいる市民団体を支援し、その団体の協力のもと検診の拡大を図る。

エ 健康まつり等への参加

各市町村が行なう健康まつり等に協力し、啓発活動の促進を図る。

オ パンフレット、リーフレット、ポスター等

パンフレット、リーフレット、ポスター等を作成配布し、がんに関する正しい知識の普及、がん検診事業の拡大を図る。

(8) 各種がん対策会議

がん検診事業を拡大し受診率の向上を図るため、次のとおり各種会議を開催する。

ア がん対策推進会議

次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で保健所・市町村・事業所関係者を対象に「がん対策推進会議」を10月23日（金）に開催する。

イ 日本対がん協会 東北・北海道ブロック会議

北海道・東北6支部において事業推進及び協会の運営状況等についての情報交換を行うため、毎年開催されており、本年度は10月に宮城県で開催する。

ウ 各センター所在市と北海道対がん協会とのがん検診打ち合わせ会議

がん検診を、円滑かつ効率的に実施するため、各センターが所在する札幌市、旭川市、釧路市と打合せ会議を開催し、必要事項を協議する。

(9) 受診率の向上

ア 受診率向上委員会を開催し充実強化を図る。

検診の受診率の向上を図るための方策について協議を行い、新たな方策に取り組む。

イ 未受診者への検診勧奨

新聞折り込みチラシ・未受診者勧奨ハガキ・電話等を活用し、一度も受診していない方や、当年度未受診者・1年未受診者・2年未受診者・3年未受診者、無料クーポン未受診者への働きかけを積極的に進める。

ウ 事業所などへの検診勧奨

事業所に積極的なアプローチを行い、がん検診の受診拡大を強力に進める。

特に、利便性が高い各センター周辺地区・市町村・事業所には重点的に受診勧奨する。

エ 日曜検診の実施

3検診センターで年間のべ18日程度、日曜検診を実施し、平日に受診できない人の受診拡大を図る。

(10) 行政との連携強化

北海道をはじめ市町村との連携強化により一層取り組み、受診率の向上を図る。

(11) センター検診の充実

ア センター利用のPR

札幌市・旭川市・釧路市内の町内会へ積極的に検診をPRし、センター利用の受診拡大を図る。

イ 人間ドックの受診拡大

標準コースにCT等精度の高いオプションコースを設けるなどして、人間ドックの受診拡大を図る。

ウ ホームページからの予約

若い方々が予約しやすい環境づくりのためインターネット予約を推進する。

(12) その他

ア 北海道がん対策基金の管理・運営

がん患者やその家族を社会全体で支え合うことを目的に設立された「北海道がん対策基金」の事務局として基金の管理・運営を行う。

イ がん電話相談事業

がんに対する不安・悩み・疑問など関心を抱く人々からの相談に応じるとともに、がんに関する正しい知識の普及に努める。

ウ 小舟会事務局

会員相互の親睦・健康回復の実践を促すことを目的に設立された小舟会(がん患者会)の事務局を担うほか、会が実施するがんを語り合う会、研修会等の活動を側面から支援する。

エ 禁煙運動への参加

北海道禁煙週間実行委員会に参加し、WHOが提唱する世界禁煙デーを中心とする諸行事に参加・協力する。

オ リボンムーブメント(大学生の子宮頸がんの啓発活動グループ)の活動協力グループ

メンバーの知識普及のための研修会等の協力を行う。

2 検診事業（H27年度計画数）

I 集団検診事業総括表

（単位：人）

| センター別 | | H. 26年度 合計 | H. 27年度 合計 | 札 幌 | 旭 川 | 釧 路 |
|--------------------|---------|---------------|---------------|---------|---------|--------|
| 胃 が ん | 検 診 車 | 88,010 | 88,300 | 46,960 | 27,400 | 13,940 |
| | 検 診センター | 31,130 | 30,350 | 17,650 | 8,500 | 4,200 |
| | 計 | 119,140 | 118,650 | 64,610 | 35,900 | 18,140 |
| 子 宮 が ん | 検 診 車 | 22,600 | 22,795 | 11,410 | 8,100 | 3,285 |
| | 検 診センター | 45,420 | 44,120 | 24,800 | 14,200 | 5,120 |
| | 計 | 68,020 | 66,915 | 36,210 | 22,300 | 8,405 |
| 乳 が ん | 検 診 車 | 21,620 | 22,090 | 10,850 | 8,000 | 3,240 |
| | 検 診センター | 47,500 | 46,650 | 27,050 | 14,200 | 5,400 |
| | 計 | 69,120 | 68,740 | 37,900 | 22,200 | 8,640 |
| 肺 が ん | 検 診 車 | 68,860 | 67,670 | 27,050 | 25,320 | 15,300 |
| | 検 診センター | 29,220 | 28,820 | 15,600 | 8,920 | 4,300 |
| | 計 | 98,080 | 96,490 | 42,650 | 34,240 | 19,600 |
| 大 腸 が ん | 検 診 車 | 84,500 | 88,390 | 49,800 | 25,630 | 12,960 |
| | 検 診センター | 39,800 | 37,120 | 22,100 | 9,620 | 5,400 |
| | 計 | 124,300 | 125,510 | 71,900 | 35,250 | 18,360 |
| 小 計 | 検 診 車 | 285,590 | 289,245 | 146,070 | 94,450 | 48,725 |
| | 検 診センター | 193,070 | 187,060 | 107,200 | 55,440 | 24,420 |
| | 計 | 478,660 | 476,305 | 253,270 | 149,890 | 73,145 |
| 前立腺がん | 検 診 車 | 9,170 | 9,880 | 4,000 | 3,200 | 2,680 |
| | 検 診センター | 4,050 | 4,980 | 2,730 | 1,500 | 750 |
| | 計 | 13,220 | 14,860 | 6,730 | 4,700 | 3,430 |
| 特 定 健 診 | 検 診 車 | 38,290 | 40,360 | 16,970 | 15,100 | 8,290 |
| | 検 診センター | 11,350 | 11,400 | 7,650 | 2,400 | 1,350 |
| | 計 | 49,640 | 51,760 | 24,620 | 17,500 | 9,640 |
| 定期健康診断 | 検 診 車 | 4,780 | 5,140 | 2,100 | 1,850 | 1,190 |
| | 検 診センター | 5,500 | 5,910 | 3,410 | 700 | 1,800 |
| | 計 | 10,280 | 11,050 | 5,510 | 2,550 | 2,990 |
| 全国健康保険協 会管掌健康保険 | 検 診 車 | 390 | 355 | 100 | 190 | 65 |
| | 検 診センター | 5,440 | 5,685 | 4,000 | 760 | 925 |
| | 計 | 5,830 | 6,040 | 4,100 | 950 | 990 |
| 人間ドック | 検 診 車 | 320 | - | - | - | - |
| | 検 診センター | 2,820 | 2,560 | 2,000 | 400 | 160 |
| | 計 | 3,140 | 2,560 | 2,000 | 400 | 160 |
| 骨 検 診 | 検 診 車 | 840 | 870 | 750 | 30 | 90 |
| | 検 診センター | 11,700 | 11,810 | 7,950 | 3,200 | 660 |
| | 計 | 12,540 | 12,680 | 8,700 | 3,230 | 750 |
| 超音波検査 （婦人科） | 検 診 車 | 17,950 | 18,185 | 7,600 | 8,100 | 2,485 |
| | 検 診センター | 42,950 | 40,500 | 21,200 | 14,800 | 4,500 |
| | 計 | 60,900 | 58,685 | 28,800 | 22,900 | 6,985 |
| 超音波検査 （腹部） | 検 診 車 | - | - | - | - | - |
| | 検 診センター | 3,150 | 3,000 | 3,000 | - | - |
| | 計 | 3,150 | 3,000 | 3,000 | - | - |
| 小 計 | 検 診 車 | 71,740 | 74,790 | 31,520 | 28,470 | 14,800 |
| | 検 診センター | 86,960 | 85,845 | 51,940 | 23,760 | 10,145 |
| | 計 | 158,700 | 160,635 | 83,460 | 52,230 | 24,945 |
| 合 計 | 検 診 車 | 357,330 | 364,035 | 177,590 | 122,920 | 63,525 |
| | 検 診センター | 280,030 | 272,905 | 159,140 | 79,200 | 34,565 |
| | 計 | 637,360 | 636,940 | 336,730 | 202,120 | 98,090 |

※肺がん計画数にはヘリカルCTを含む

3 調査研究事業

(1) 学会研修

日本消化器がん検診学会北海道支部の主催する医師・放射線技師・保健師等の合同学会に参加・協力する。

また、職員の資質の向上をはかるため、各種学会・研究会に参加する。

(2) 厚生労働省「がん対策のための戦略研究事業」

「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」の研究団体として引き続き参加する。

(3) 北海道大学病院乳腺外科が実施する臨床研究

「日本人女性のエストロゲンレセプター陽性乳癌の発症予防に向けた高危険群選別モデルの開発」における共同研究に参加する。

(4) 北海道「地域医療再生基金事業」

北海道より受託した「がん診療機能評価事業」において、がん診療連携拠点病院の診療実績等の把握及び市町村のがん検診に関する事業評価を行う手法について検討する。